

事務局の近況（5月）

日本縦断は、夢から形になっています。

事務局体制を分担してから時間が経ち、各担当が機能し始めました。

各担当の現状をお知らせします。

参加者・励まし隊の皆さま、

自分の担当以外でも結構関係することがありますので見てください。

大会前の体制

●コース図作成班（樋口、新井、森塚）

担当業務が終わった唯一の班です。

大会コースの地図456枚の確認と修正をしました。

京都班の樋口・新井2名と森塚宅で2日間、朝から晩まで黙々とやりました。

大会コースは、各都道府県の教育委員会が発行した「歴史の道調査報告書」から殆ど引用しています。江戸時代に街道として使われた道を現在の地形図に書き込んで解説したものです。

原本の報告書を見ながら、1年前に、森塚がいい加減に作った地形図を再点検しました。府県により地図の縮尺が違ったりで、確認に手間取りましたが、3人にとっては有意義な2日間だったのではなかったでしょうか。

修正した地図は456枚の内159枚あり（約3分の一）、既に縦断参加者には修正版を送付しました。

参加者の中から、今だに「大会ルートの旧道は、どうやって見つけたんですか」と質問を受けます。3000キロ以上も走るのですから「府県が調べた江戸時代の旧道を走っています」と、道で人に聞かれたら答えるくらいにはお願いします。

街道名は、現地を走れば自然と覚えるでしょう。奥州街道・日光街道・東海道・・・何はともあれ、京都地図班、お疲れさまでした。

●GP選定班（各県1人の21人）＋（編集人：谷川、越野）

全国を北から南まで走ります。どうせ走るのだったら、「ここは見ておいてよ」と、ランナーに勧めるGP（グッドポイント）を考えました。地元の人ならではの目線で各県1人をお願いしました。県が変わる度に、GPが変われば長い日本縦断の旅も面白いのではと考えました。

今、一番熱いのがこのGP班です。2月をお願いして提出期限は6月末にしました。4ヶ月の調査期間が問題を生みました。愛知の浅井さんが、遠い遠い担当の熊本に調査に行つたと聞きました。何で・・・と思うまもなく、走り仲間とGPをダシにマラニック調査を楽しむ府県もありと耳にしました。

沖縄の女史は、担当の北海道に調査遠征に行ったりと気絶物です。このGP班にかかわらず、いろんな班で、調査などにかかった実費くらいは請求されたら支払おうと思っっていますが、これはきつい。これは勘弁願いたい。

こんな状況になろうとは全くの想定外です。

そして、もうひとつの想定外のお土産がありました。

現地でGPを調査するのに大会コース図を利用してもらったのですが、GP報告と一緒に「コースのこの所は、通行に気をつけて」と地図付きで教えて頂きました。事前調査や試走会で通行しているのですが、最新情報は有難いです。これは嬉しい想定外です。

街道コースは直線的なのに、地下道・鉄道などで迂回せざるをえない区間が多くあります。コース図修正で大きな迂回ルートは記入しましたが、地図に表せない短い区間もあります。

これを皆に、いつどうやって伝達するかは、別に考えなければいけません。

GP探しも結構楽しんでいるようですが、提出期限は6月末です。梅雨も迫ってきます。GP編集人の奈良県人（越野・谷川）両人は、提出期限の間際に一気くると大変なので、出来次第早めに提出願います。

GP選定済みの報告状況（5月15日現在）

（青森 宮城） （三重 滋賀 京都 兵庫 熊本）

再確認です。GP選定人の提出期限は6月末です。

● 宿舎予約班（三宅、谷口、毛利絹子）

GP選定班と同じくらい、今燃えているのが宿泊予約班です。

これは当初から苦勞すると予想していましたが、やはり大変です。

日本縦断60日間の宿舎を、走行前に予約する。日本の北端から南端とはいえ、東海道を始め日本の幹線を通るコースです。一部峠越えなどの個所もあり、一日の走行距離の長短で調整するくらいで出来ると考えていました。

一日の総行距離は、「バッグも担ぐ大会なのだから」と皆さんの意見に押されて短めにしました。1ブロックに1か所は休日として極端に距離の短い区間をと計画しましたが、結果的には、旅館の確保出来る個所から決まり、不規則な休日設定となりました。

予約作業をしていると、現在の日本の宿泊事業を感じます。

日本はアメリカ・ヨーロッパなどと比べてホテル・旅館はかなりあります。しかし、車社会に合わせた宿泊事情なので、大都市に集中していて、田舎の駅前に旅館がある時代ではない。どんどん廃業している時期で、旅館登録していても最近やめてしまったと寂しい話をきくことも多いです。

そして、最高に困ったのが、簡単に予約出来るネット予約が簡単に利用出来ないという事です。当初は、電話でいちいち旅館側と話して多数検討するより簡単に出来ると考えていました。

ネット予約は、早くても宿泊日の3ヶ月前から開始です。9月20日にスタートするのですから、6月20日になってやっと予約できます。ゴール・佐多岬は11月17日。その3ヶ月前は8月17日です。スタートの1カ月まえです。これはキツイ。

旅館を予約して参加者にお知らせし、事務局も地図など旅館に送る準備をしなければいけません。宿泊施設は、どうしても60日間繋がらなければいけません。スタートの1か月前に予約を開始して出来なければ大変です。

大阪三人娘は、直接宿舎に交渉する作戦に出ました。ホテルはネットを利用したらすごく安い。しかし、ホテルとネット会社の付き合いで、なかなか予約を取らせてくれない。12人のまとまった人数でも難しい。ネットの事前予約は安く簡単と言うのは、3か月を過ぎてからの話しです。

そして予約は、ホテルよりも旅館に傾き、ほぼ半数が旅館という結果になりそうです。そして半年も前に予約するのに、超格安とはなりません

それでも、大阪3人娘は、頑張って大阪根性で予約してくれました。

全宿泊数 60軒 予約済 48軒 (8割予約済)
(旅館：26軒 ホテル：22軒)

参加者には「宿舎予約状況」を同封しました。

まだ、確認・確定していませんので参考として見て下さい。

十和田の1泊2700円を筆頭に、なるべくコースに近く、なるべく安価なものを探しました。でも、街道巡りですので、静岡・吉原宿の昔ながらの街道旅館・憧れの大橋屋を盛り込んだり、京都祇園・八坂の塔近くの旅館を貸切ったりと楽しみ満載です。

あと少しです。日本縦断は繋がります。参加者も気を揉んでいます。

● 梱包班 (京都班・W森塚、長尾)

すべてのものが準備出来てから宿舎に送る梱包作業に入れます。

コース図回収・GP表作成完了・ゼッケン完成・宿舎手配完了

以上を、7月中に終えて、8月に無事、京都梱包班(長尾・W森塚)で確実に作業を迎えたいと祈るだけです。

作業開始出来るかどうかは、皆さん、特にGP班の出来にかかっています。

● ゼッケン班 (樋口)

ゼッケンは、夏に開催している夜走りで長年一緒にやってきた京都の樋口さん

にお願いしました。秋の走り旅や、春の歩き旅でもいつも素敵なゼッケンを作ってもらっています。

今まで使ってきたのは、長くて3日程度なので、今回60日間連続仕様可能なものを、特別にお願いをしています。海外の横断レースは荷物を担ぎません。この日本縦断は荷物を担ぎ、それにゼッケンを取り付けます。落ちることのない、外れない、設置しているのを忘れさすくらいのゼッケンが最高です。また、ゼッケンを見た人が「日本縦断を走っているんですか」と声をついかけられるような、粋なデザインを期待しています。

ランナーは日本縦断に挑戦しますが、このゼッケン仕様も、日本縦断に挑戦します。ひとつひとつの挑戦が大きな挑戦になります。

これも、もう10年以上ゼッケンを作り続けた樋口さんだから出来るのではないのでしょうか。ただし、提出期限は、7月15日、夜走り直後です。

●大会旗（井之本）

京都・天の橋立近くに住む井之本さんに依頼しました。

「A4で3枚くらいの大きさと、畳んで持ち運びやすい物、あとはお任」
5年も10年も会っていないのに、急にかけた電話なのに、喜んで引き受けてくれました。走り仲間は、これだからいいんです。

井之本さんは、芦田さんの舞鶴・れんがの街マラニックなどでTシャツなどに味のあるデザインをされています。このTシャツを、森塚はロングの大会では愛用している。生地といい、デザインといいお気に入り、日本縦断でも一緒に走ります。

スタート前などに記念撮影に使おうと考えている大会旗、日本海が見える宮津の民家から、どんなものが出来るか楽しみです。提出期限は7月15日ですのでよろしく。

大会旗は、舞鶴に馴染みのある副幹事の浅井さんに面倒を見て貰います。また、参加賞にTシャツを作ったらと言う声もありますが、他に何かあるのか参加者・励まし隊の意見を募集します。

大会時の担当

「自分たちに必要なものは、自分たちでやる」

サポートカーも大会運営スタッフもない走り旅ですので、集団事務局体制で走る事務局です。シンプルに、気持ちよく日常事務をこなし、走り旅を運営出来たらと思っています。

気持ちよく走るには、いい天気も必要ですが、走ることに集中できるように、

走る以外のこの運営にかかっています。実はこの運営事務も、走ることの一部です。運営事務も、気持ち良く楽しみたいものです。

大会時の担当の近況は、近況と言うより大会前に、どんな準備をしていくか、どうするかを再確認することになります。

「どうにかなる」は、準備をしてから言うセリフです。

準備していることは、もう大会は始まっている、始めているのですから。

●会計班（町田）

必要なものは自分で調達し自分で支払う。60日間ですので1日1万円かかったとしたら60万円必要です。その12人分としたら720万円が動くことになります。

どこかの旅行会社に企画してもらって、案内ガイドにお金も全部事前に渡し、後は旅行を楽しんでもいいのですが、この720万を自分たちで管理します。この内、旅館代金は一括集金して会計が代表して、旅館側に支払います。ホテルの場合は、フロントで各自支払いますので問題なし。

先日、旅館代金をどう集金し、どう支払うか皆さんにアイデアをお願いしました。

○一括して会計に事前に渡しておく。

○お釣りなしで封筒に入れて会計に渡す。

などありましたが、やはり無理があります。

浅井さんの提案を採用してみようとなりました。

「当初数万円を会計に渡しておき、無くなる前に1万円をその都度徴収する。」すばらしくシンプルな、いいアイデアです。会計担当が記録・計算・保管するのも可能な範囲です。さすが会計プロ・浅井さんです。

帳簿様式、ブロック参加者の扱いなど細かい運営はどうするか今後決めなければいけません。やっと先が見えました。体調回復に励んでいる町田さん、大金を集めて逃げ出すストーリーは消えましたので、リハビリの合間に、ランニングをしながら会計実務のアイデアを作ってください。会計事務は、会計プロの副幹事・浅井さんに相談してください。

なお、当初「たまには旅館にも泊まろう」から、実際は、旅館の利用が半分程になりそうです。会計の役割もより大変に。

参加者の皆さん、徴収金をその都度持参するのを忘れないように、サポートしてください。

- 個人コース図担当（長尾）
- コース図送付（森塚和子）

縦断参加者12名全員が事前配布を希望されて、はや2名が返却されています。コース図片手に下見に励んでいる方や、地図を見ながら色マーカー片手にイメージ走行される方もおいでしょう。書き込みは全く自由です。返却期限は7月15日到着とします。ページ番号が通しであるかどうか、ページ番号の位置が揃っているかどうかを確認して送り返して下さい。

- ①梱包班（長尾+W森塚）が詰め込んだ各個人のコース図を、
- ②コース図送付班（京都：森塚和子）から送ったコース図を、
- ③詰め込んだ長尾さんが、個人コース図担当として開封します。

同封した「コース図配布計画」を見て下さい。

3日分のコース図が、3日毎の宿舎に送付されています。

A4サイズ・456枚のコース図*12人+ブロック参加者=約6000枚の膨大な枚数です。

長尾さんが一言「俺がぜんぶ持つ」と言ってくれば、こんな複雑な宅配便システムも必要ないのですが如何でしょうか。無理ですね。

個人コース図と一緒に、一日1枚のGP表も送ります。

GP表には1日5ヶ所程度のGPと、当日の宿舎が図で示されています。

もう一度連絡します。

7月15日までに、事前送付したコース図は返却して下さい

- 原図コース図班（浅井）
- 運び人班（浅井班長・奈良崎・毛利・鈴木・若穂井）
- コース図送付（森塚和子）

個人コース図が見事に3日毎に到着すれば、この班は必要ありません。運び人は多くの労力と気を使います。コース図をUSBチップに電子ファイルし、携帯して利用する事を考えましたが、USBが使えるコンビニは、コース近くには少なく、またファミマではUSBが利用出来ません。原図コース図は、保険みたいに考えて担いで運搬します。

なるべく運搬人の負担を少なくなるよう、ブロック単位の6か所（宗谷・函館・仙台・日本橋・大阪・門司）に、コース図送付人（森塚和子）が、前の個別コース図とは別に発送します。

運び人班5人（浅井・奈良崎・毛利・鈴木・若穂井）に2～3日分（約20枚）を、浅井手配師が分配します。渡された区間の原図コースは、個人コースが3日毎に到着しますので、到着しているのが確認出来たら不要になります。運び人は個人のコース図も最大3日分持ちますので、原図コース図：最大2日分と合わせると、最大5日分（約40枚）一時的に持つことになります。運び人は、その増加負担分をより個人荷物を減らす工夫を考えれば帳尻はあうのですが……。

●かわら版班（金原・高橋）

試走会でも試したかわら版、少し手を入れたものを一日1枚発行します。走り出せば、各個人の定位置があり、宿泊先でも中々時間が取れず、その少しのずれが違和感になります。かわら班が少しでも、日本縦断という船団で気持ちのいい船内の風になればと思います。

どうしようかと迷っていた到着時刻は、記入する枠を作りました。皆さんがどの程度で到着しているかをお互い知る事は、走っている状態を知る目安になると考えました。でも、累計時間は記録する必要ないでしょう。なるべく、その日の内に皆に配布出来るようにした方が、同じかわら版でも新鮮味が違います。そのためには、どうやればいいのかを、かわら版担当の2人はシミュレーションして考えて下さい。

行動欄は両人が自由に書き込んで下さい。文筆豊かな2人ですが、枠は限られています。腕の見せ所です。1日1枚のかわら版を2人でどう分担するか、現地に入る前にしっかり決めておくことが大事です。

試走会では、雲峰さんに送るかわら班は手紙で報告していましたが、FAXの方が速いし、封筒を準備しなくてもいいし、費用面（コンビニで1枚50円）でも安くなります。練習しておいて下さい。

60日間、一般新聞とは遠ざかる別世界に入りますが、かわら版は、走り旅には一般新聞にはない走り情報と、記録と走るヒントが満載されています。

●写真班（越田・田中）

いい時代になったもので、カメラも扱いやすい軽量のものが使える時代です。なによりフィルムに代わる記録媒体の小型化と値段は、日本縦断向けです。ただ撮影する者は、結構体力を使います。

走りながら写すのですが、撮影する一瞬は止まらなければ画像がぼけてしまいます。雪の上でライフルを撃ちながらスキーする競技みたいです。手振れ防止機能など最近の機種では付いていますが、やはり写す瞬間は止まった方がいい

でしょう。また、相手が動いているランナーなどの場合は、シャッタースピードを固定・優先する方が画像はしっかりします。画素数の選択、記録媒体容量の選択など選択肢もいろいろ、難しいですが、疲れた頭でも撮影できるように準備が必要です。

先日、急遽参加の浪越さんの顔写真が必要でした。九州縦断9日間の時の記録を見ました。結構あの時はたくさん撮ったはずなのですが、浪越さんの写真は集合写真だけでした。

これはどうしたことでしょうか。実は、各人の走る相対的な位置は大きく変化しません。枚数を多く撮っても以外に写せる人物は限定しています。

走り旅の写真は、風景や記念物もいいですが、参加者が多く映るシーンが欲しいです。撮影する人数を増やすのが一番良さそうですが、撮影は慣れていないと結構きついです。積極的に撮影班としてやってみようという方を大募集します。今日は誰々の日と決めて撮影したりするのも手ですが、撮影者もランナーですのでやり方にひと工夫がいきりそうです。

写真班以外でも、個人的に撮った人物写真は、是非大会後に事務局に送ってください。最終的に撮影したもの全員分を合体して映像記録します。かわら版は、文字で残しますが、やはり映像の威力はメガトン級。写真班の活躍を期待します。

●打合せ班（浅井、森塚）

走った当日の反省確認と、明日のための打合せを毎晩やります。

G Pの補足説明・他のG Pなども状況に応じてお知らせします。

G P班から教えて貰ったコースの補足も、この時に説明すればいいのでしょうか。

実は、皆さんに渡すG P表はたくさんのG Pを編集人が選別し、1日5点に絞ったものです。解説文も走りながらでも判る程度に要約した長さにしました。原本G P選択表は3日毎の宿舎便に入れてありますので、それを見て、しっかりした解説を浅井さんが、解説もどきを森塚がやります。地元の人が勧めるコース上の歴史を実際に見られます。

G P選択人はどうも参加者をすべてのG Pに引きずり込もうと力をいれているようです。個性豊かなG P班です。甘い誘惑に打ち勝ってそのG Pをパスするのは勇気が必要です。

浅井・森塚の2人で進行を分担すれば、お互いの負担が減ります。

浅井さんには、今回、副幹事をお願いしました。事務局の分担をする際に最初に決めました。これだけでも、気分はひどく楽になりました。

当初は、勘違いして事務局のすべて一人でやるつもりだったので、体力面も参加者の5割増しは必要だと考えたりで、かなりの緊迫感がありました。

私一人が倒れたら終わりになるような大会を作ってはいけません。そして、大会は、参加者全員の、送り出す家族も含めてのものです。また多くの励まし隊のものでもあります。自分の夢をつくるだけでなく、みんなの希望を乗せて走ります。

浅井さんから、いつも温かい気遣いを頂いています。「僕はリタイアした数だけは負けない」といつも自負しています。走れなくなっても、歩けなくなっても浅井さんだけは復活してくれます。それは誰にも替えることのない実績です。副幹事をお願いしてから、次々と事務局を分担しました。

今回、名簿を一新して、全員名簿をつくりました。参加者も励まし隊も全員載せました。

日本縦断する走り旅船団は、しっかりとすでに船出しています。

● ブログ

最後になりましたが、雲峰さんのブログを利用させていただきます。励まし隊への日々の状況報告を届けたり、全国のマラニック愛好者にこんな大会もあるんですよとお知らせしようかと考えています。

雲峰さんからは、掲示板に参加者が投稿するようお話がありますが、いくら携帯から簡単に出来るとはいえ、難しそうです。参加者の年代もかわら班に書く方が楽なようです。最近のホテルでは、部屋でもネット接続出来る所もありますが、何せ、宿泊料×60日の費用を落とすためにも、宿泊班はネット有無を重視していませんので、参加者がホテルで常に掲示板を見ることも出来ません。

とは言え、皆さんに走行をリアルタイムで見て頂く雲峰さんのブログの存在意義が薄れるわけではありません。長期間になり、雲峰さん一人でブログを日々更新するのは大変と思います。誰か二人三脚でブログを管理できる人や方法はないのでしょうか。